

令和4年度(2022年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第4号

## 危険予測できる力を

### ——子供たちにとっての交通環境

朝から正門前にいると、中学生も高校生もあいさつをしてくれます。おそらく伊倉小の卒業生なのでしょう。よいことは続け、広めていくといいですね。

しかしながら、7時半から8時に掛けての交通量の多さにはヒヤリ・ハットさせられます。本校の児童が最も多く登校する時間帯(7時40分から7時50分)に重なるからです。

本校では年度当初の4月18日に地域の方たちの協力を得て交通安全教室を行いました。下の写真は横断歩道の渡り方を練習している1年生です。



3月4日付け政府広報オンラインによれば、気を付けるべきはこれからの時期です。次のようなデータがあるからです。

小学生の歩行中の交通事故(平成29年～令和3年)をみると、小学校1年生の歩行中の死者・重傷者は6年生の約3.7倍。死者に絞ると1年生は6年生の7.0倍に上ります。その特徴は次の5点です。

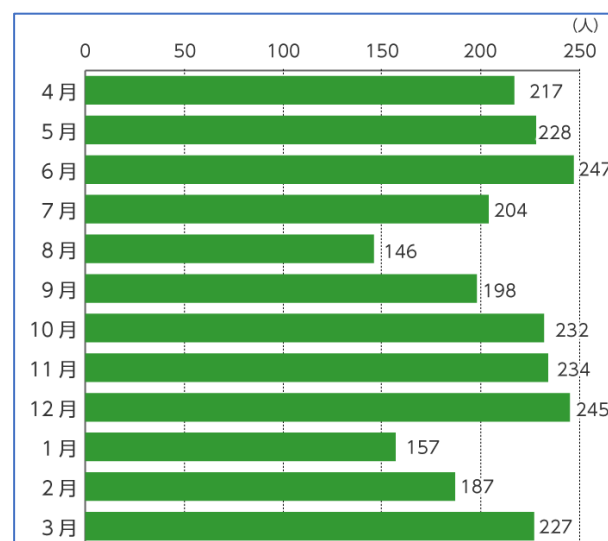
①状態別では歩行中の事故が最も多い。

(過去5年間で約6割)。

②学年が低いほど歩行中の、学年が高くなると自転車乗車中の割合が高くなる。

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索

③小学1年生の第1のピークは5月中・下旬(下校中及び私用)。年間の月別では6月が最多。(下のグラフは平成29年～令和3年の「月別の死者・重傷者数」)



④歩行中死者・重傷者の約4割は飛び出しが原因。

⑤時間帯では「午前7時台」「午後2時台～5時台」で、最多は午後3時台。

事故防止のためには、大人が交通ルールやマナーを守ることはもちろんですが、子供たち自身にも危険予測できる力を身に付けさせる必要があります。具体例として、見通しの悪い交差点や曲がり角では、立ち止まって右左を見たり先に頭を出して見たりする動作も必要です。

小学校低学年の子供も「一人歩きデビュー」の時期になるかと思います。自分の命を守るために、交通安全教室で学んだことを実際の生活で活かされる伊倉小の子供たちであってほしいと願っています。

